

# Q 24

## アシステッドハッチングのメリットとデメリットを教えてください

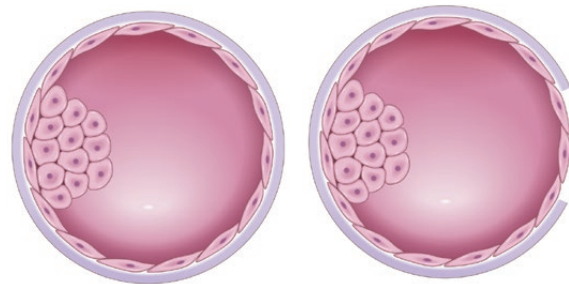
**A** アシステッドハッチングについては妊娠率が向上するという報告があり、症例に応じて実施されています。ただし、多胎が増加するという報告もありますが、結論は出ていません。

### アシステッドハッチングとは

排卵直後の卵子や受精卵(胚)は透明帯という膜で包まれており、多数の精子が侵入するのを防ぐ、受精した胚(受精卵)を保護する、といった役割があります。通常、胚は子宮内膜に着床する前に、透明帯を突き破って孵化(ハッチング)しますが、加齢や胚の凍結保存などが原因で透明帯が厚くなったり、硬くなったりすることがあり、孵化できない場合があると考えられています。アシステッドハッチングとは、透明帯を人工的に切開して孵化を補助することによって、妊娠率・出生率の向上を試みる方法です。現在、国内の多くの施設においてアシステッドハッチングが実施されていますが、海外では妊娠率を向上する明らかなデータがないことから推奨していない国もあります。

妊娠率の向上に効果があるという報告、またアシステッドハッチングの有無にかかわらず流産率に差がないという報告があります。特に、過去に胚移植で妊娠不成功だったケースや、卵細胞質内精子注入法(ICSI)の症例で有効とする報告があり、透明帯を完全に除去する方法で有効という報告があります。

現時点では、アシステッドハッチングが有効であると考えられる症例にのみ行われています。



アシステッドハッチングにより透明帯が切開された受精卵(右)

### アシステッドハッチングのリスク

日本では2007年から全国の生殖補助医療施設で行われた治療法を登録し、その内容について分析を行っています。その結果や他の複数の報告などからアシステッドハッチングと多胎妊娠の関連が指摘されています。試験や分析方法によって結果に差があるため、まだ明確な結論は出ていませんが、アシステッドハッチングにより多胎妊娠が増加する可能性は否定できません。

【参照生殖医療ガイドライン CQ】

CQ21：assisted hatching は有効か？ assisted hatching は生殖補助医療に有効か？